

町勢状況

昭和45. 4. 1 現在
世帯数 1,506 戸
人口 5,629 人
男 2,701 人
女 2,928 人

広報たしる

No. 211

昭和45年

4月号

田代町総務課編集 毎月5日 1650部発行



桜も、水も、人も美しい
(4月3日 花瀬公園にて)

広報のしおり

ことしの冬は、ほんとうに長い冬でした。この長い冬もようやくあけて、野や里に、桜、菜の花、れんげ、

そして、やまぶき、たんぽぽ、チューリップなど庭先も、ぐつとにぎやかに、すっかり春めいてきました。住々暖かになると、そろそろ虫が目につきはじめます。かわいい虫なら文句はありませんが、どうもあ

のチョロ、チョロ、すばしこく台所付近から座敷の中まではい回るゴキブリはいけません。最近はいくすりが出まわり、大部防除できるとなりました。まだ少し値段が高いようです。まず、この害虫の媒体を

するのはネズミです。ネズミ退治はいろいろな方法がありますが、ネズミの最大の敵は、勿論ネコであります。その次は食物を与えないことで、三〇四日何も食べないと死んでしまうそうです。ゴキブリにしろ、ネズミにしろ、家の内外の清掃が行き届いてくれば、おのずから減ってまいります。

健康々々陽気が暖かくなると気がゆるむせいとか、かぜをひきやすいといわれます。かぜとわかつたらすぐ手当てをしましょう。ぐずぐずしていると夏まで持ちこすこととなります。

こどもの事故々々四月になると外で遊ぶ機会も多くなり、こどもの戸外での事故がふえるといわれます。とくに交通事故は登校時より下校時に多いようです。学校がひけたら右側通行でさっさと帰宅するようにしつけましょう。

春の火災予防々々四月は火災の多い月です。最近農村地帯も夫婦だけの家庭がふえ、留守番をする人が少なくになりました。農作業や外出のときは、火の始末を忘れないようにしましょう。

四月のこよみと行事予定

- 三日 花瀬公園まつり
- 六日 春の交通安全運動 一五日まで
- 小・中学校入学式
- 七日 婦人会長会
- 田代高校入学式
- 九日 保育所入所式
- 十三日 小・中学校ツベルクリン注射 二〇日まで
- B・C・G
- 一五日 麓永寿会
- 一七日 民生委員会
- 二四日 農業委員会
- 二七日 臨時議会(予定)
- 二九日 天皇誕生日



総額二億二七六万円

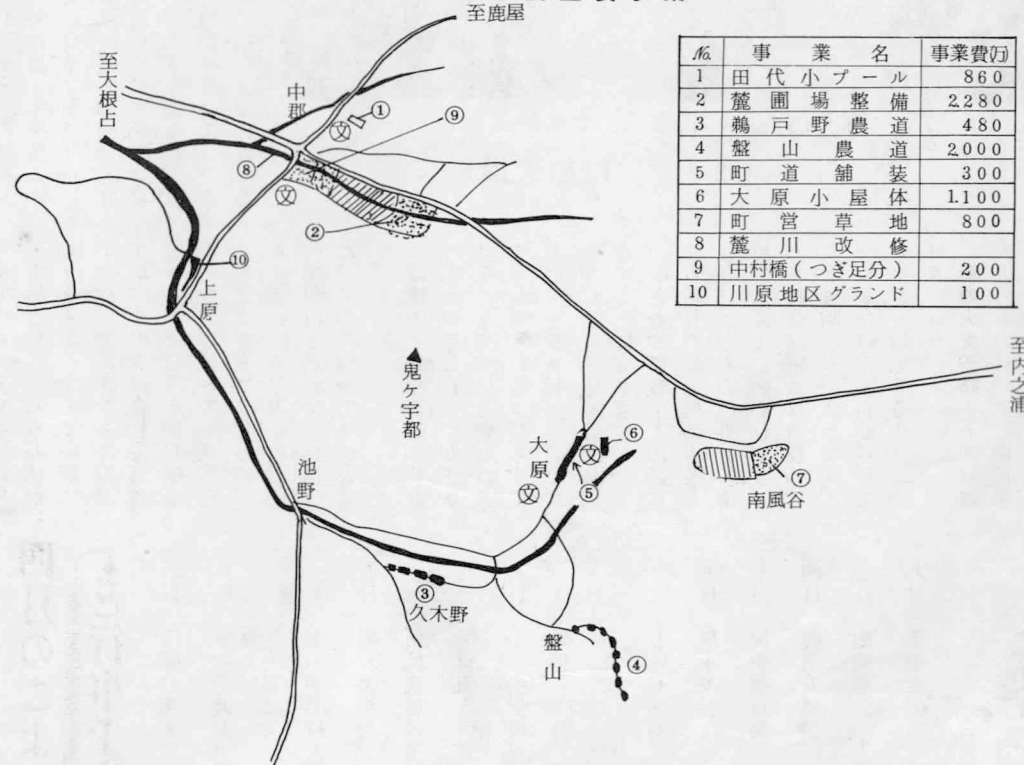
歳 入				歳 出			
科 目		金 額	比率(%)	科 目		金 額	比率(%)
自主財源	町 税	2160	10.1	議 会 費	829	3.9	
	財 産 収 入	1118	5.3	総 務 費	4023	18.9	
	使用料及手数料	261	1.2	民 生 費	1042	4.9	
	そ の 他	780	3.7	衛 生 費	459	2.1	
	小 計	4319	20.3	農 林 業 費	7312	34.4	
依存財源	地 方 交 付 税	10449	49.1	土 木 費	1827	8.6	
	国 県 支 出 金	4528	21.3	消 防 費	315	1.5	
	町 債	1830	8.6	教 育 費	4145	19.5	
	そ の 他	150	0.7	公 債 費	1097	5.1	
	小 計	16957	79.7	そ の 他	227	1.1	
合 計		21276	100.0	合 計		21276	100.0

本年度の主な

転			出			転			入					
職名	氏 名		配 置 校		職名	氏 名		前 任 校		職名	氏 名		前 任 校	
校 長	田 代 小 学 校		加世田市教委 学校教育課長		校 長	山 崎 重 成		鹿 屋 中 教 頭						
教 諭	萩 原 正 春	大 木 已 知 男	西ノ表市 住 吉 小		教 諭	池 田 中 俊 彦	肥 山 博 征	(研修派遣) 古 仁 屋 小						
" "	滝 崎 孝 尚	山 下 忠 史	(派遣) 岸 良 小		有 資 助	中 肥 前 迫 隈 神 水 元 岡 立	志 布 志 町 楠 川 良 泊 採 "	八 野 小 小 小 用						
" "	鹿 馬 倉 俊 範	上 屋 久 町 (派遣) 楠 川 小	田 代 中 退 職 期 限 付 採 用 大 始 良 小		助 教	柴 立	島 新 "	小 小 中						
助 教	白 石 末 子	西 之 園 綾 子	学 級 増 博		教 諭			佐 多 中						
" "	成 田 綾 子	学 級 増 博	牧 之 原 小		" "									
教 諭	中 野 正 博	大 原 小 学 校	吾 平 小 池 之 原 小 退 職		" "									
事 務	中 野 正 博	大 原 小 学 校	吾 平 小 池 之 原 小 退 職		事 務									
教 諭	田 中 志 重	大 原 小 学 校	吾 平 小 池 之 原 小 退 職		教 諭	伊 地 知 博 子	野 方 小 小 用							
" "	鮫 島 幸 雄	大 原 小 学 校	吾 平 小 池 之 原 小 退 職		助 教	町 西 村 隼 男	郡 新 採							
助 教	倉 元 美 智 子	大 原 小 学 校	吾 平 小 池 之 原 小 退 職		教 諭									
教 諭	田 代 中 学 校		協 和 中 池 田 小 始 良 郡 溝 辺 町 陵 南 小		教 諭	山 ノ 川 光 雄	野 田 渡 原 美 智 子	辺 塚 中 中 小 小						
" "	赤 理 孝 仁	歌 枕 民 子	始 良 郡 溝 辺 町 陵 南 小		" "	野 馬 新		花 岡 代 南						
養 教 諭	村 田 フ サ 穂	佐 枝 瑞 穂	始 良 郡 溝 辺 町 陵 南 小		養 助			陵 南 小						
" "	大 久 保 人	大 原 中 学 校	始 良 郡 溝 辺 町 陵 南 小											
教 諭	大 原 中 学 校		始 良 郡 溝 辺 町 陵 南 小		教 諭	前 田 成 美	大 島 郡 久 志 中							
" "	中 俣 屋 宗 治	大 原 中 学 校	始 良 郡 溝 辺 町 陵 南 小											
	大 浜 正 宣	大 原 中 学 校	始 良 郡 溝 辺 町 陵 南 小											

も、お子様の冥福をお祈り申し上げます。
の皆様と共に厚くお礼を申し上げます。

№	事業名	事業費(円)
1	田代小プール	860
2	麓圃場整備	2,280
3	鶴戸野農道	480
4	盤山農道	2,000
5	町道舗装	300
6	大原小屋体	1,100
7	町営草地	800
8	麓川草修	
9	中村橋(つき足分)	200
10	川原地区グラウンド	100



大原小学校屋内運動場一〇〇坪、一一〇〇万円、田代小学校プール八六〇万円のほか、田代中学校の教育機器七三万円等と

なっています。

●その他

以上の外、社会体育施設として川原地区グラウンドの整備費一〇〇万円及び

老人福祉対策として敬老年金の創設、重症病人に対するベッド貸付等の事業を計画しました。

役場職員事務分掌

昭和45年4月1日

課	係	職 員 名
総務課課長 牧原 節	庶務 財務 管財	岩崎 美義・小路 幸一(高校より) 小平ツヤ子(新採用) 古里 実・小園フナ子 西川 登・池田 鉄夫・用務員 白桃より子
収入役室	出納	上田 徹朗・名ヶ迫 沢子
税務課課長 中原 正美	固定資産税 町民税 国保税	松坂 征幸・田代 凱洋 山下 常夫・舞原 悦郎・大中原ノリ子
民生課課長 井手籠 親 保育所	町民 厚生年金 保健衛生 保母	大浦 義美・平山 亮子 白桃 進・山下 深・鮎川 紀明 中原 強一・湯ノ谷サワ・湯ノ谷亮二 小榎チエ子(嘱託)・川前ツ子(老人家庭奉仕員)(嘱託) 林 ミツ・坪内 妙子・山下 悦子(新採用)
建設課課長 上ノ原鉄次	土木 水道	湊原 忠雄・門前 正二・毛下 久男 樋渡 秀子(新採用)・門前 四男・山口 弘 上久保三郎・松田 種志
経済課課長 荻原 健一	振興 指導	竹ノ内哲哉・山元 利夫・小牧 三郎・川前郁夫 有里やす子(新採用) 西野 正次(茶)・藤崎 重昭(養蚕) 若松 秋男(畜産)
教育委員会 松田 進	学校教育 社会教育	小榎 正夫・中村 光郎 山下 俊郎・宮園フサ子
議会事務局長 小川 兵一	書記	小牧 ノブ
農業委員会 事務局長 平原 良夫	書記	柿迫 隆志(高校より)

公民館長に松田 進

經濟課長に荻原 健一

役場職員の大巾異動

議会議務局長に小川 兵一
原町長は三月末をもって
七名の退職者がでたのを機
会に、役場職員の大巾な異
動を行いました。

新採用職員の顔



ここにちは
保健所です

いよいよ昭和四十五年度
事業が始まりましたが、県
では「太陽の子運動」推進

長い間

ご苦労さん

このたび、次の方々が役場を退職されました。

本当に長い間で苦勞さんでした。

隈元健夫さん（戸籍係を
しておられました。勤続二
四年）

長野実夫さん（厚生係を
しておられました。勤続一
三年）

木佐貫繁さん（農業委員
会勤務、勤続二〇年、三月
一四日病氣死亡）

金子幸子さん（田代小学校
校用務員、勤続八年）

門前厚子さん（田代高校
用務員、勤続七年）

久保幸雄さん（田代高校）

事務職員、勤続一一年)

井手口カツ子さん（教育）

勤務、勤続五年、

おくべきことは、公衆衛生思想の普及伝達を第一主義としなければなりません。またこのことは一般住民それぞれが、関心を結集し住みよい町づくりに心がけなければ、空念仏になってしまいます。

昨年十一月から飼犬取締条例が改正され、犬はつなぐか、カコイの中に入れて飼わなければならぬことは殆んど皆さん御存知なのに、未だに守らない人がいたり、豚の糞尿を下水や道路に流して人に迷惑をかけたリ、または、海岸や道路等に汚物やチリを山積みにして、別に悪いことをしたとも感じない人がいたり、かぞえたらきりのないほどです。

このようなことは公害ではありません。明日からでもできることです。

部落の会合や衛生普及会などでどしどしとりあげ、明るい衛生環境をつくるよう町をあげてとりくみたいものです。

